

発言No. 16

受付No. 14

令和 5 年 11 月 22 日
9 時 43 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名 牛尾昭

答弁を求めるもの

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、ふるさと納税について

総務省が発表したふるさと納税制度に基づく自治体への2022年度の寄付総額は、前年度比1352億円増の9654億円となり、3年連続で過去最高を更新したそうである。財政難に苦しむ地方の自治体には貴重な収入源となる反面、この時期になると、テレビを通じて過剰な返礼品競争に拍車がかかる。ある仲介サイトによると、2023年上半期の返礼品は物価高を反映し、日用品や規格外品が人気で2年前に比べると米は約1.5倍、トイレットペーパーは約5倍で寄付者の90%超が今後も日用品などを選びたいと答えており、「返礼品で生活費を浮かせる動きは続く」と分析している。浜田市は、この4月から「実績」があるといわれている運営会社に委託先を変更した。全国の自治体が売り上げをのぼしている中で、浜田市の寄付額は、かげりが見えている。わが町の得意分野「水産返礼品」においても、福島原発の処理水で、中国が輸入禁止措置をとっている関係で非常に心配している。

そこで、以下の問題について質問するが4月から10月末の状態であらう。

- ①運営会社の変更はどうであったか、現状認識を問う。
- ②運営会社は、業者に売上増のために、どの様なアプローチ・指導をしたか問う。
- ③アプローチ・指導の結果が、どの様に実績に反映されたかを問う。
- ④米などの生活必需品の動きが良いようであるが現状を問う。
- ⑤水産品の動きについては、北海道・東北が良いようであるが現状を問う。
- ⑥昨年は、12月にノド黒の欠品があり打撃を受けたが現状を問う。
- ⑦今年度の目標設定は3億円増だが、見通しを問う。

2、企業版ふるさと納税について

市長の1日の動静を毎日の新聞報道で目にするが、本当に、東奔西走で頭が下がる。漁船誘致のポートセールスをとっても、凄い行動力である。この11月には、市長会の役職で新たに、全国の過疎地域対策の副会長に就任されました。また、先般は、首長部門で全国3080の応募者の中からマニフェスト大賞の優秀賞を受賞されました。全国の有名首長が参加する中、浜田市の久保田市長の名前が全国に轟いた瞬間でありました。私は、かねてから、市長のトップセールスこそが、企業版ふるさと納税に効果があると考えておりました。

- ①今年度の実績について伺う
- ②下半期の見通しについて伺う

3、はまだ市民一日議会での発言テーマ「浜田市の子供達の水産体験」について

- ①発言者から、「子供達に、例えば、海にサザエがいて、それを取って食べられるというような、体験をさせたい。せめて鑑札などを販売して海と触れ合う機会をつくれないうか」という要望があった。私も、かねてから、市民の方から、昔はできていたが、今は厳しすぎる。おまけに、罰金まである。何とかならないかという質問を受ける。この際だから、出来ること、出来ないことをはっきりさせる必要があると思う。先般、JFしまねを訪ね改めて確認した。漁業権のある海域では、魚介類の採捕は出来ないというルールがある。主な理由は、資源が減少していて、漁業者が負担をして資源回復のために、放流事業をしているという現実があるということ。もう一つは、自ら資源回復のために、禁漁期間を設け生活防衛をしているということである。つまり、生活がかかっているのである。では、漁業権のない海ではどうか、これも県の許可が必要である。例えば、波子海岸で地引網を引く場合は、県の許可が必要で、漁業者の協力があれば出来るが有料である。以上が聞き取り調査の結果である。ただ、発言者の心情はよく分かる。規制のない資源、例えば、にし、ぼべ、亀の手、立貝、かじめなどは大丈夫である。海の街浜田市として、これらを対象とした子供達への海洋教育が出来ないか伺う。

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 浜田をPRする情報発信力の強化について

(1) 情報発信力の強化に向けての取組について

① メディアを通しての情報発信は、その影響力において極めて重要と考えるが、市として情報の発信力の強化に向けてどのように取組をしているのか、その現状を伺う。

(2) ホームページのアクセス数の現状と認識について

① ネットワークメディアはアクセス数の大小によって関心度を評価することができる。ホームページのアクセス数の上位の項目は何か、また、これをどう受け止めているか、認識を伺う。

(3) 情報発信の成果の検証と評価について

① テレビ・新聞等のマスメディアが市の事業について発信したとき、その成果をどのように検証し評価しやる気につなげているか、現状を伺う。

2. BUY 浜田運動と学校給食の質向上について

(1) 学校給食に使用する調味料について

① 食材の地産地消が推奨されているが、学校給食における砂糖・塩・酢・醤油・味噌の調味料における地元製品の活用はどのような状況か、現状を伺う。

② 学校給食での天然塩の使用状況について、その現状を伺う

3. 地域の教育力の維持向上について

(1) 地域の教育力と経済活動について

① 地域の教育力の向上により、移住・定住や企業進出につながり、このことが地域の経済活動の活性化に寄与すると考えるが、その認識について伺う。

(2) 高等学校再編の動きに対する受け止めについて

① 江津地域で高校再編の検討がされているが、この動きをどのように受け止め対応しようとしているのか認識を伺う。

発言No. 18

受付No. 10

令和 5 年 11 月 22 日
8 時 59 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番 氏名 小川稔宏

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 持続可能な地域とオーガニックの推進について

(1) 有機野菜の地産地消の拡大について

- ①市内における有機野菜普及状況と供給体制の現状と課題について伺う。
- ②生産体制維持拡大に向けた省力化等における支援について伺う。

(2) 子どもたちの食育における有機食品への転換について

- ①子どもの食と健康、SDGs との関係性を学ぶ学校教育の状況を伺う。
- ②学校給食での有機米、有機野菜の導入状況と今後の目標について伺う。

(3) オーガニック給食の拡充について

- ①市内産有機食材への転換にかかる経費について伺う。
- ②給食費の無償化に対する検討状況を伺う。

2. 職員採用試験受験者数の減少について

(1) 受験者数の減少の原因や背景について

- ①過去 10 年間の募集者数と合格者数、並びに採用者数と、受験者数が減少傾向にある背景と原因に対する認識と対応状況について伺う。
- ②早期退職の増加と採用数の減少による業務量や時間外労働の増、行政サービスへの影響等について伺う。

(2) 働きがいを実感できる自治体職場について

- ①定員適正化計画から定員管理計画とすることで期待される効果について伺う。
- ②魅力ある仕事、職場にするための取組みについて伺う。

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 認知症施策の推進について

浜田市の新規要介護者の状況を見ると、要介護の原因疾患の1位が男性女性とも認知症となっている。国では今年6月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が策定された。浜田市においても、認知症の対策をしっかりと取り組む必要がある。また現在の浜田市高齢者福祉計画は令和5年度までとなっているので、検証の意味も含めて以下の質問をする。

(1) 認知症に対する正しい理解の普及について

- ① 国の認知症基本法の基本的施策の①として認知症に関する理解の増進とある。その手段の一つとして認知症サポーター養成講座がある。浜田市高齢者福祉計画には令和5年度末に8,000人の目標値となっている。昨年7月で7,755人であったが、今年度の実績について伺う。
- ② 今年度のキャラバンメイトさんの会議について回数と内容について伺う。
- ③ 子どもへの理解の普及についての状況を伺う。

(2) 認知症予防活動の推進について

- ① 認知症予防の一つとして、聴覚が低下すると、社会や人との関わりが少なくなり、その結果認知症のリスクを高めると言われており、近年ではヒアリングフレイルが注目されている。ヒアリングフレイル対策の現状について伺う。

(3) 認知症になっても暮らしやすい地域づくりと支援体制の充実について

- ① 暮らしやすい地域づくりと支援体制の充実として認知症カフェがある。現状についての所感を伺う。

(4) 認知症施策を進めていく体制について

- ① 認知症施策を進めていく上で認知症地域支援推進員の役割は重要である。現在の体制で足りているのか伺う。

2. 浜田市の介護の現状について

(1) 浜田市社会福祉協議会が行っている介護保険事業について

浜田市社会福祉協議会が現在行っている「野原デイサービスセンター」の通所介護事業並びに、訪問入浴事業を令和6年3月31日付けで廃止する報告、説明を受けた。

- ① 浜田市社会福祉協議会が行っている訪問介護事業のサービスを受けておられる方の、5年前と現在の利用者の推移状況について伺う。
- ② 浜田市社会福祉協議会が行っている通所介護事業のサービスを受けておられる方の、5年前と現在の利用者の推移状況について伺う。
- ③ 浜田市社会福祉協議会が行っている訪問入浴事業のサービスを受けておられる方の、5年前と現在の利用者の推移状況について伺う。

(2) 介護サービスに対する浜田市の考えについて

- ① 高齢化が進む中、住み慣れた地域で暮らし続けるには今後はより重層的支援が必要と考えるが、浜田市の介護サービスに対する考えを伺う。
- ② 中山間地域であり過疎地域である浜田市において、介護保険という公的サービスだけでなく地域独自のサービスも今後は必要と考えるが浜田市の考えを伺う。

以上

発言No. 20

受付No. 20

令和 5 年 11 月 22 日
10 時 55 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番 氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 介護予防の取組について

(1) 生活支援コーディネーターについて

- ①令和6年度の人員体制を伺います。
- ②令和6年度のコーディネーターの取組内容を伺います。
- ③生活支援コーディネーターと外部連携の取組を伺います。

(2) 閉じこもり予防について

- ①閉じこもりは要支援や要介護となるリスクを含んでいます。高齢者に限らず若年期から閉じこもりとなっても同様の状況が心配されることから、閉じこもりの早期発見・対応が重要と考えます。浜田市の閉じこもり対策を伺います。

2. 防災・減災対策について

(1) 浜田市業務継続計画について

- ①浜田市の業務継続計画の策定状況を伺います。
- ②庁舎が停電した場合の非常用電源の稼働時間を伺います。

(2) 防災訓練について

- ①先般、地域協議会で令和6年度の総合防災訓練の日程について示されましたが、取組内容について伺います。
- ②災害をイメージすることでどのような備えが必要かを考えることができることから、図上演習の重要性を感じていますが、実施の状況について伺います。
- ③災害時において、情報収集は大変重要です。市民自らが情報を取りに行けるような訓練も必要と考えますが、ご所見を伺います。

- ④集落単位で災害時の情報共有や避難の基準を、事前に設けていたことで助かった事例もあることから、訓練の場が住民相互の確認の機会になるような仕掛けを具体的に考えられているか伺います。
- ⑤心肺蘇生とAED講習の実施も重要と考えます。先日、救命救急講習を受けた際に「あっぱくんライト」という機材を使用され、人形の使用よりも狭い空間でテーブルの上でも簡単に行うことができます。この活用についてご所見を伺います。

3. 生理休暇について

- ①進学時の小中高校生らの生理については、日本若者協議会と任意団体「#みんなの生理」が実施したアンケートの結果で「生理によって学校を休みたいと思ったことがある」が9割に上った一方、成績や内申点に悪影響が出ると思い休むのを我慢した人が68%であったと報告されています。高校入試の内申書の欠席日数欄を削除する自治体があるとのことですが、浜田市の考え方について伺います。
- ②働く女性の健康を守るため、生理休暇をはじめ、妊娠中のつわりや体調不良、不妊治療などを理由とした休暇が取りやすい環境を整えることは大変重要なことと考えます。「生理の貧困」の解消に向けては、全国の公共施設などで生理用品の無料配布が広がっている一方で、取得率が1%に満たない実態にある生理休暇制度については女性だけでなく事業者にも周知を進めていくことが必要と考えますが、現状について伺います。

発言No. 2

受付No. 13
令和5年11月22日
時 9 分 23 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 4 番 氏名 三浦大紀

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市内県立高等学校3校共同宿舎整備について
高校を核とした島根創生の実現に向け、浜田市でも魅力化コンソーシアム等を通じて、市内県立高校への関わりが増している。この度、市内県立高校の寄宿舎を整備する案が示された。関係性や支援のあり方を明らかにするため、以下質問する。

- ① 整備案の提案に至った経緯と市の考え方はどのようなものか。
- ② 寄宿舎の整備に関する県の考え方はどのようなものか。
- ③ 市内各高校における生徒獲得の考え方及び戦略はどのようなものか。
- ④ 市内中学校から市内高校への進学状況をどのように捉えているか。
- ⑤ 試算された運営費における収支のバランスをどのように捉えているか。
- ⑥ 教育費全体への影響はあるのか。

以上